

# 市町村における発掘調査の概要

令和5年度（2023年度）

# 目次

はじめに .....	4
令和5年度(2023年度)市町村が主体となる発掘調査一覧 .....	5
令和5年度(2023年度)(公財)北海道埋蔵文化財センターによる発掘調査一覧 ..	6
令和5年度(2023年度)大学等による発掘調査一覧 .....	6
市町村における発掘調査成果の概要	
<b>石狩管内</b>	
札幌市 K498遺跡 .....	8
札幌市 H508遺跡 .....	9
江別市 町村農場4遺跡 .....	10
恵庭市 柏木川9遺跡 .....	11
<b>胆振管内</b>	
室蘭市 東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 .....	12
苫小牧市 柏原74・75遺跡 .....	13
白老町 白老仙台藩陣屋跡 .....	14
<b>渡島管内</b>	
函館市 白尻小学校遺跡 .....	15
函館市 大船E遺跡 .....	16
函館市 大船J遺跡 .....	17
森町 鷲ノ木遺跡 .....	18
<b>檜山管内</b>	
江差町 開陽丸遺跡 .....	19
上ノ国町 史跡 上之国館跡のうち洲崎館跡 .....	20
上ノ国町 史跡 上之国館跡のうち花沢館跡 .....	21
厚沢部町 館城跡 .....	22
今金町 町内分布調査 .....	23
今金町 美利河2砂金採掘跡 .....	24
今金町 神丘5遺跡 .....	25
<b>宗谷管内</b>	
枝幸町 目梨泊遺跡 .....	26
礼文町 香深井1遺跡 .....	27
利尻富士町 利尻神社下遺跡 .....	28
<b>オホーツク管内</b>	
湧別町 シブノツナイ竪穴住居群 .....	29

**釧路管内**

厚岸町	筑紫恋第一チャシ跡 .....	30
-----	-----------------	----

**根室管内**

中標津町	標津川9遺跡 .....	31
標津町	ポー川河岸2遺跡 .....	32
羅臼町	タツカリウス南岸遺跡 .....	33
羅臼町	モイレウシ川南岸遺跡 .....	34

## はじめに

北海道教育委員会では、北海道内で実施された発掘調査の成果をすみやかに知っていただくために、平成3年度（1991年度）から「市町村における発掘調査の概要」を作成しています。

発掘調査や遺跡の内容について、より詳しく知りたい方は各ページの末尾に記載のある問い合わせ先へお問い合わせください。

また、埋蔵文化財包蔵地の位置については「北の遺跡案内」で情報を公開しているほか、北海道オープンデータポータルからGISデータをダウンロードできます。

「北の遺跡案内」 <https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.html>

北海道オープンデータポータル <https://www.harp.lg.jp/opendata/dataset/1245.html>

末筆ではございますが、本書の編集にあたり、快く原稿執筆に御協力いただきました市町村担当者の皆様に感謝申し上げます。

市町村が主体となる発掘調査一覧（文化財保護法第99条及び125条）

番号	管内	市町村名	遺跡名	登載番号	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因・理由
1	石狩	札幌市	K498遺跡	A-01-498	3100	道路
2			H508遺跡	A-01-508	374	詳細分布
3		江別市	町村農場4遺跡	A-02-56	1600	道路
4		恵庭市	柏木川9遺跡	A-04-26	1395	その他建物
5	胆振	室蘭市	東蝦夷地南部藩モロラン陣屋跡	J-01-29	18	史跡整備
6		苫小牧市	柏原74・75遺跡	J-02-316 J-02-317	945	詳細分布
7		白老町	白老仙台藩陣屋跡	J-10-10	79	史跡整備
8	渡島	函館市	白尻小学校遺跡	B-01-257	384	道路
9			大船E遺跡	B-01-303	130	道路
10			大船J遺跡	B-01-325	1667	道路
11		森町	鷲ノ木遺跡	B-14-35	8	史跡整備
12	檜山	江差町	開陽丸遺跡	C-01-62	216	学術研究
13		上ノ国町	史跡 上之国館跡のうち洲崎館跡	C-02-25	225	史跡整備
14		上ノ国町	史跡 上之国館跡のうち花沢館跡	C-02-70	36	史跡整備
15		厚沢部町	館城跡	C-03-14	217	史跡整備
16		今金町	町内遺跡詳細分布調査	-	62	詳細分布
17		今金町	美利河2砂金採掘跡	C-10-15	約100	詳細分布
18		今金町	神丘5遺跡	C-10-18	9300	詳細分布
20	宗谷	礼文町	香深井1遺跡	H-05-42	130	道路
19		枝幸町	目梨泊遺跡	H-08-9	12	学術研究
21		利尻富士町	利尻神社下遺跡	H-10-19	8	詳細分布
22	オホーツク	湧別町	シブノツナイ竪穴住居群	I-21-35	22	詳細分布
23	釧路	厚岸町	筑紫恋第1チャシ跡	M-03-80	30	学術研究
24	根室	中標津町	標津川9遺跡	N-03-56	2	詳細分布
25		標津町	ポー川河岸2遺跡	N-04-183	2	詳細分布
26		羅臼町	モイレウシ川南岸遺跡	N-05-71	5	詳細分布
27		羅臼町	タツカリウス南岸遺跡	N-05-43	9	詳細分布

(公財) 北海道埋蔵文化財センターによる発掘調査一覧 (文化財保護法第92条)

番号	管内	市町村名	遺跡名	登載番号	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因・理由
1	石狩	千歳市	美々4遺跡	A-03-214	800	空港
2	渡島	長万部町	豊野3遺跡	B-17-15	300	鉄道
3		松前町	福山城下町遺跡	B-02-29	854	道路
4	胆振	苫小牧市	有珠川7遺跡	J-02-204	1790	河川
5	オホーツク	興部町	興部豊野竪穴群(B)	I-24-7	40	詳細分布

大学等による発掘調査一覧 (文化財保護法第92条)

番号	管内	市町村名	遺跡名	登載番号	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因・理由
1	石狩	札幌市	K39遺跡	A-01-39	424	公園造成
2					153	学術研究
3	後志	蘭越町	立川1遺跡	D-05-2	15	学術研究
4					20	学術研究
5	胆振	伊達市	有珠モシリ遺跡	J-04-61	6.5	学術研究
6		豊浦町	礼文華遺跡	J-05-3	45	学術研究
7	檜山	奥尻町	青苗遺跡	C-07-2	100	学術研究
8	宗谷	稚内市	追久間内川左岸段丘第1遺跡隣接地	-	20	学術研究
9		礼文町	浜中2遺跡	H-08-19	40	学術研究
10	オホーツク	北見市	吉井沢遺跡	I-02-96	11.5	学術研究
11			大島1遺跡	I-02-326	144	学術研究
12		置戸町	秋田10遺跡	I-13-97	9	学術研究
13		置戸町	置戸山2遺跡	I-13-105	6	学術研究

市町村における発掘調査の概要  
令和5年度（2023年度）

調査理由	開発事業（道路）
調査地	札幌市北区屯田町1031-5 ほか
調査主体	札幌市教育委員会（札幌市埋蔵文化財センター）
調査期間	令和5年（2023年）6月1日～10月13日
調査面積	3,100㎡

K498遺跡は、札幌市営地下鉄南北線麻生駅から北東へ約4.3km、石狩市との市境に位置しています。沖積平野の北端部に立地し、遺跡の北約170mを発寒川が流れています。現在の海岸線から遺跡までは約6.3kmで、遺跡付近の現在の標高は約2.6mです。令和4年度より道路新設事業に伴い発掘調査を行いました。

今年度の発掘調査では、縄文中期の遺物包含層が確認され、遺跡のほぼ中央にある南北方向の微高地上で遺構・遺物が発見されました。遺構は、竪穴住居跡1軒・土坑7基・炉跡2基・剥片集中範囲1ヶ所などが、遺物は、縄文中期の土器・黒曜石製の石鏃、石斧などが見つかっています。竪穴住居跡は、長さ約6m、幅約4.5mの楕円形で、覆土からは黒曜石の剥片・碎片が多く出土しています。

なお、発掘調査の成果については、令和7年度末に発掘調査報告書として刊行する予定です。



K498遺跡 調査状況

お問い合わせ先：札幌市埋蔵文化財センター

所在地：札幌市中央区南22条西13丁目 電話番号：011-512-5430

開館時間：8:45～17:15

閉館日：祝日・振替休日・年末年始。ただし、5月3～5日、11月3日は開館



調査理由	詳細分布
調査地	札幌市東区丘珠町571番地3
調査主体	札幌市教育委員会（札幌市埋蔵文化財センター）
調査期間	令和5年（2023年）8月23日～9月25日
調査面積	374㎡

H508遺跡は、札幌市北部に広がる沖積平野に立地する縄文晩期～続縄文初頭の遺跡で、モエレ沼の南西側に位置しています。現地表面の標高は5m前後、縄文晩期～続縄文初頭の旧地表面の標高は3m前後です。

H508遺跡は、札幌市農業体験交流施設「サッポロさとらんど」内に所在しており、平成30年5月に遺跡を活用した体験学習施設「丘珠縄文遺跡」がオープンしました。これまで、平成25・26年度に確認調査を実施し、平成30年度から遺跡の詳細を把握することを目的として、毎年発掘調査を実施しています。

令和5年度は、前年度から引き続き、同じ地区で続縄文初頭頃の炉跡等を調査しました。

なお、発掘調査の成果については、令和6年度末に調査概報を刊行する予定です。



H508遺跡 調査状況

お問い合わせ先：札幌市埋蔵文化財センター

所在地：札幌市中央区南22条西13丁目 電話番号：011-512-5430

開館時間：8:45～17:15

閉館日：祝日・振替休日・年末年始。ただし、5月3～5日、11月3日は開館）

## 江別市 町村農場4遺跡

A-02-56

調査理由	開発事業（道路）
調査地	江別市元江別736-1、775-6、806-27
調査主体	江別市教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）6月1日～7月29日
調査面積	1,600㎡

町村農場4遺跡は、石狩低地帯に半島状に突き出た野幌丘陵上にあり、市街地を流れ石狩川に合流する沢の右岸に位置しています。

今年度は、遺跡の南側を調査し、住居跡1件、土壇(どこう)7基、落とし穴1基、焼土12箇所を検出し、土器866点、石器など213点、計1,079点を発見しました。焼土は調査範囲全体に分布するのに対し、土壇は沢に近づくと密度が濃くなる傾向にあります。住居跡も沢の近くで発見されました。

住居跡は径3.5mほどの大きさで、縄文時代中期のものと考えられます。土壇は径0.3mから2.2mまでと大きさは様々で、2.2mの土壇からは縄文時代中期の土器が130点発見されました。土器は、縄文時代中期から後期初頭のものが多く、中でも余市式土器はまとまった状態で出土しました。石器はナイフのほか、たたき石などを発見しました。



住居跡の調査



余市式土器の出土状況

お問い合わせ先：江別市郷土資料館

所在地:江別市緑町西1丁目38 電話番号:011-385-6466

開館時間:9:30~17:00(最終入館16:30)

閉館日:月曜日・祝日の翌日・年末年始

## 恵庭市 柏木川9遺跡

A-04-26

調査理由	開発事業（店舗）
調査地	恵庭市柏陽町3丁目280-1 ほか
調査主体	恵庭市教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）6月8日～10月31日
調査面積	1,317㎡

遺跡はJR恵み野駅の西側500mに位置し、柏木川（延長10.2km）の中流右岸台地上に立地します。平成19年に詳細分布調査が、令和4年度に民間の開発事業に伴う発掘調査がいずれも恵庭市教育委員会により行われており、令和5年度も昨年度に引き続き民間の開発事業に伴う発掘調査が恵庭市教育委員会により行われました。

調査区域は2か所に分かれており、広い区域をC区（1,100㎡）、それより約50m北側の細長い区域をD区（217㎡）としました。写真のA・B区は令和4年度の調査区になります。遺構はC区で竪穴建物跡5基・土坑墓1基・土坑30基など（いずれも縄文中期が多い）、D区で小土坑1基が確認されました。遺物は約24,000点で、土器は縄文早～後期が見つかっています。

整理作業は令和6年2月から予定されており、上記の遺構・遺物の数や時期は令和6年1月時点でのものです。



令和4・5年度の調査区



C区全景

お問い合わせ先：恵庭市郷土資料館

所在地：恵庭市南島松157-2

電話番号：0123-37-1288

開館時間：9：30～17：00

閉館日：月曜（休日を除く）・休日の翌日・毎月最終金曜日・年末年始

調査理由	史跡整備
調査地	室蘭市陣屋町2丁目5番1～6
調査主体	室蘭市教育委員会
調査期間	令和5年(2023年)7月18日～10月2日
調査面積	18㎡

東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡は、安政3年(1856)に南部藩士によって構築された近世の陣屋跡です。内外二重の土塁と壕からなる方形陣屋跡は、昭和9年(1934)に国の史跡指定を受け、昭和49年(1974)には台場・勤番所跡が追加指定されています。

今回の調査は史跡整備を進めるため、外陣正面土塁(東側)を対象とし、外陣東側土塁の堆積状況等を把握するため行いました。

調査の結果、土塁の土層堆積状況や構築時の表土確認など成果を得られたところです。



調査状況



トレンチ2 土塁下部の状況

お問い合わせ先：室蘭市教育委員会教育部生涯学習課

所在地：室蘭市幸町1番2号

電話番号：0143-22-5094

メール：syougaiakusyuu@city.muroran.lg.jp

## 苫小牧市 柏原74・75遺跡

J-02-316/317

調査理由	詳細分布
調査地	苫小牧市字柏原23-3 ほか
調査主体	苫小牧市埋蔵文化財調査センター
調査期間	令和5年(2023年)9月26日~10月14日
調査面積	945㎡

苫東開発区域内の柏原地区の調査で、新たに柏原74・75遺跡を発見しました。  
遺物は確認されませんでした。落し穴が柏原74・75遺跡でそれぞれ1基ずつ確認されています。



調査風景



落とし穴検出状況

お問い合わせ先：苫小牧市埋蔵文化財調査センター

所在地：苫小牧市末広町3丁目9番7 電話番号：0144-35-2550

閉館日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/29~1/3）

## 白老町 白老仙台藩陣屋跡

J-10-10

調査理由	詳細分布
調査地	白老郡白老町陣屋町1168・770・771、緑丘4丁目679
調査主体	白老町
調査期間	令和5年(2023年)5月26日～11月30日
調査面積	79㎡

本町では『史跡白老仙台藩陣屋跡整備基本計画』の策定に向け、令和4年度(2022年度)より白老元陣屋跡の発掘調査に着手しています。初年度の調査は所期の目的を達成できなかったことから、本年度は引き続き外曲輪において、仙台藩土造営時の土塁の検出を図り、あわせて虎口に設けられていたと考えられる掘割の検出を目的とした調査を行いました。

結果、外曲輪では文献等に記される規格より小規模でしたが、目的の遺構を確認することができました。また、虎口東側の調査においては掘割に加え、土留め用の杭の跡と思われる痕跡を両岸から検出しました。

この成果を受け、令和6年度(2024年度)は虎口西側及び馬出まで調査の範囲を広げ、白老元陣屋の玄関口における遺構の全容を把握したいと考えています。



虎口の掘削



外曲輪土塁

お問い合わせ先：仙台藩白老元陣屋資料館

所在地：白老郡白老町陣屋町681-4 電話番号：0144-85-2666

メールアドレス：jinya@town.shiraoi.hokkaido.jp

開館時間：9：30～16：30

閉館日：月曜（祝日の場合は翌日）・年末年始（12/29～1/3）

# 函館市 白尻小学校遺跡

B-01-257

調査理由	開発事業（道路）
調査地	函館市白尻町340-4
調査主体	函館市教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）7月18日～11月27日
調査面積	384㎡

遺跡は、白尻漁港西隣へと注ぐ無名の小河川の上流、標高約30～35mの小河川左岸の海岸段丘上緩傾斜地に位置しています。

調査は縄文時代前期以降の遺物包含層（Ⅲ層）と、縄文時代早期の遺物包含層（Ⅴ層）について実施しました。

本遺跡は、令和3年から白尻漁港臨港道路建設に伴い調査を開始して、今年度で3年目、最終年の調査になります。

Ⅲ層で検出した遺構は、土坑22基、焼土1ヵ所、礫集中1ヵ所です。遺物は、縄文時代中期～晩期の土器、石鏃、石錘、スクレイパー、石斧、擦石、砥石、朱漆塗製品など約10,000点が出土しました。

Ⅴ層で検出した遺構は、土坑1基、焼土1ヵ所です。遺物は、早期中葉～後葉の土器、石鏃、つまみ付きナイフ、石斧、石錘、石製品など約500点が出土しました。



白尻小学校遺跡 作業状況



白尻小学校遺跡 調査風景

お問い合わせ先：函館市教育委員会 生涯学習部 文化財課

所在地：函館市東雲町4番13号 電話番号：0138-21-3472

メールアドレス：bunkazai@city.hakodate.hokkaido.jp

調査理由	開発事業（道路）
調査地	函館市大船町513-1、513-2
調査主体	函館市教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）5月9日～5月26日
調査面積	130㎡

遺跡は、函館市大船町の大船中村川左岸と佐藤川右岸の間、標高約53～56mの海岸段丘に位置しています。令和4年度に1,630㎡を調査し調査報告書を刊行しましたが、追加調査が必要となり令和5年度に調査を実施しました。調査は、縄文時代前期以降の遺物包含層（Ⅲ層）と、縄文時代早期の遺物包含層（Ⅴ層）について実施しました。

Ⅲ層で検出した遺構は、竪穴建物跡1軒、竪穴建物の掘り上げ土1ヵ所、柱穴状土坑2基、炭化物集中1ヵ所です。竪穴の構築時期は縄文時代中期です。

遺物は、縄文時代中期・後期の土器、敲石、擦石、石皿などの石器類や炭化したクリなど約240点が出土しました。

Ⅴ層では遺構は検出されませんでした。遺物は剥片1点と礫1点が出土しました。



大船E遺跡 Ⅲ層完掘状況



大船E遺跡 Ⅴ層調査風景

お問い合わせ先：函館市教育委員会 生涯学習部 文化財課

所在地：函館市東雲町4番13号 電話番号：0138-21-3472

メールアドレス：bunkazai@city.hakodate.hokkaido.jp



## 函館市 大船J遺跡

B-01-325

調査理由	開発事業（道路）
調査地	函館市大船町498-4、502-2、506-1、506-4、507-1、507-5、511-3
調査主体	函館市教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）6月1日～9月27日
調査面積	1,667㎡

遺跡は、函館市大船町の佐藤川左岸、標高約59～67mの海岸段丘上に位置しています。調査は、縄文時代前期以降の遺物包含層（Ⅲ層）と、縄文時代早期の遺物包含層（Ⅴ層）について実施しました。

Ⅲ層で検出した遺構は、土坑4基、柱穴状土坑4基、落とし穴1基、集石2基、焼土6カ所、剥片集中1カ所です。落とし穴以外の遺構の主な時期は、続縄文時代（恵山式期）です。

遺物は、縄文時代中期・晩期・続縄文時代の土器、石鏃、石銛、スクレイパー、石核、石斧、敲石など約600点が出土しました。

Ⅴ層では遺構は検出されませんでした。遺物は、縄文時代早期の尖底土器（日計式）1個体とスクレイパー、石斧、敲石、凹石、擦石、磨石、石錘、砥石など約70点が出土しました。



大船J遺跡 作業風景(Ⅲ層調査)



大船J遺跡 作業風景(Ⅴ層調査)

お問い合わせ先：函館市教育委員会 生涯学習部 文化財課

所在地：函館市東雲町4番13号 電話番号：0138-21-3472

メールアドレス：bunkazai@city.hakodate.hokkaido.jp

調査理由	史跡整備
調査地	茅部郡森町字鷺ノ木町495-12
調査主体	森町教育委員会
調査期間	令和5年(2023年)6月12日~11月8日
調査面積	8㎡

鷺ノ木遺跡は森町市街地の西方約4km、海岸線から直線距離で約1km内陸の標高約67~73mの河岸段丘上に位置しています。平成15年に縄文時代後期の環状列石と竪穴墓が発見され、それ以降断続的に遺跡の範囲や内容を確認する調査が行われています。

今年度は、史跡整備を目的として昨年度に遺構の可能性が考えられた地点の詳細を確認するため環状列石の周辺と中央配石で発掘調査を実施しました。

調査の結果、環状列石の周辺では昨年度遺構の可能性を検討していましたが、自然の影響によるかく乱であったことを確認しました。中央配石では配石の内側で約6,000年前の駒ヶ岳火山灰(Kog)や地山の層を掘りこんでいることや、現地表面で見ることができる石の下に埋められている石があることを確認しました。



中央配石

お問い合わせ先：森町教育委員会 社会教育課 文化財保護係

所在地：茅部郡森町字御幸町132 電話番号：01374-2-2186

メールアドレス：shakaikyoubu@town.hokkaido-mori.lg.jp

調査理由	学術調査
調査地	檜山郡江差町字中歌町350m沖
調査主体	江差町教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）8月29日～8月30日
調査面積	216㎡

明治元年に江差で沈没した開陽丸は、昭和50年から海底遺跡として発掘調査され、18×12mの船体の一部は、現在も水深7～8mの海底で保存しています。船体は、船体の木材を食べてしまう海中生物の嫌がる銅網を被せています。

今年の調査では、船体の保存環境を把握するため、海底から分析用のサンプルを採取しました。

### ①銅網の効果があるのか

銅網の上に堆積したヘドロを採取し、確かに銅網から銅イオンが出ていることがわかりました。検出した銅イオンの量が海中生物に効果があるかは今後の課題です。

### ②船体の木材の劣化状態

船体の木材を採取し、銅網の有無で海中生物による食害が歴然でした。分析の結果、陸上の遺跡から出土した木材よりも、劣化は進んでいないことがわかりました。

この結果を踏まえて、船体のより良い保存方法を検討していきます。



採取したシルト



銅網がはがれた箇所から採取した船体の一部

お問い合わせ先：江差町教育委員会 社会教育課 地域文化係

所在地：檜山郡江差町字中歌町193-1

電話番号：0139-52-1047

FAX:0139-52-0234

## 上ノ国町 史跡上之国館跡のうち洲崎館跡 C-02-25

調査理由	史跡整備
調査地	檜山郡上ノ国町字北村137-1
調査主体	上ノ国町教育委員会
調査期間	令和5年(2023年)5月16日~12月5日
調査面積	225㎡

洲崎館跡は、天の川河口から北東方向に約800mの標高約10m前後の砂丘上にあります。

館の成立年は1457(長祿元)年で、武田信広によって造られました。

調査は平成30年から継続して実施しており、これまで空堀状遺構などの遺構や懸仏や中国産陶磁器の出土があり、少しずつ洲崎館跡の構造がわかってきました。

今年度の調査は、過年度に懸仏が出土した付近の建物構造の存在を探ることや曲輪の範囲を特定することを目的として調査を実施しました。

調査では、江戸時代の社寺と思われる建物構造になる柱穴や、柵列となる可能性のある溝が検出されました。遺物は、江戸時代の層からは瓦や寛永通寶の出土や中世の層からは、永楽通寶や元豊通寶などが出土しています。



洲崎館跡 遠景



第1調査区 平面写真

お問い合わせ先：上ノ国町教育委員会

所在地：檜山郡上ノ国町字大留100番地

電話番号：0139-55-2230

## 上ノ国町 史跡上之国館跡のうち花沢館跡

C-02-70

調査理由	史跡整備
調査地	檜山郡上ノ国町字勝山171-4、172-1、173
調査主体	上ノ国町教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）5月16日～12月5日
調査面積	36㎡

花沢館跡は天の川に面した標高約40～60mの海成段丘面上にあります。館は、1432年～1462年の使用が考えられており、コシヤマインの戦いにおいて、道南十二館の中で茂別館と共に陥落しなかった館となっています。

これまでの調査では、従来考えられていた戦時における詰城の役割ではなく、懸仏や茶入れなどの喫茶の道具が見つかったことで、宗教的・政治的な側面もあることから、平時の利用も考えられるようになりました。

今年度の調査は、旧道の存在の確認などを目的に実施しました。旧道は、館の西側を通り、曲輪を横断して東側から主郭にのぼるルートが考えられました。その他に、館廃絶に伴う可能性のある集石遺構も検出されています。遺物は、過年度に出土したものと接合する茶入が見つっています。



花沢館跡 遠景



集石遺構の検出状況

お問い合わせ先：上ノ国町教育委員会

所在地：檜山郡上ノ国町字大留100番地

電話番号：0139-55-2230

調査理由	史跡整備
調査地	檜山郡厚沢部町字城丘366番地 ほか
調査主体	厚沢部町
調査期間	令和5年(2023年)6月1日～7月5日
調査面積	217㎡

明治元年に松前藩によって築城された館城跡の御殿遺構の調査を実施しました。

調査区の東西に盛土遺構が検出され、盛土遺構上面には地業(基礎工事)が施されていました。盛土遺構及び溝状に施された地業が東西に分割されていることから、御殿は少なくとも2棟の建物で構成されていたことが明らかになりました。このことは、平成21年に実施した地表面での礎石検出状況や令和元年・3年に札幌学院大学白杵勲教授によって実施されたレーダー探査の結果とも矛盾せず、レーダーが建物の構造をよく捉えていたこともわかりました。



遺構検出状況



溝状の地業断面

お問い合わせ先：厚沢部町教育委員会事務局 社会教育係

電話番号：0139-64-3318

メール：Kyoui-syakai@town.assabu.lg.jp

## 今金町 町内遺跡詳細分布調査

調査理由	詳細分布
調査地	瀬棚郡今金町中里205番地1 ほか
調査主体	今金町教育委員会
調査期間	令和4年(2022年)8月2日～8月10日 令和5年(2023年)7月31日～8月9日、令和5年(2023年)9月2日～9月4日
調査面積	62㎡

幕末期の古文書に残るチャシ地名や、航空写真を利用した写真測量で認識できたチャシ跡のように見える地形について、それらがチャシ跡かどうかを確認することを目的に試掘調査を行いました。事前の踏査で計6か所を選定し、それぞれトレンチを設定して堆積土層の状態を調査したところ、いずれの調査区でも人為的な痕跡を確認することができず、遺跡として認識するには至りませんでした。

なお、今回の分布調査に付随し、後志利別川流域で新たに2箇所の遺跡を発見しました。いずれも江戸時代前期の砂金採掘跡で、「中里1砂金採掘跡」、「宮島3砂金採掘跡」として埋蔵文化財包蔵地の登載を行いました。また過去の調査で把握していた未登載の2遺跡についても範囲を明確化し、「花石1砂金採掘跡」、「宮島2砂金採掘跡」として登載しました。



町内遺跡分布調査 宮島3砂金採掘跡

お問い合わせ先：今金町教育委員会 社会教育グループ

所在地：瀬棚郡今金町字今金48番地1

電話番号：0137-82-3488

メール：imk-syakyo@town.imakane.lg.jp

## 今金町 美利河2砂金採掘跡

C-10-15

調査理由	詳細分布
調査地	瀬棚郡今金町字美利河41-1 ほか
調査主体	今金町教育委員会
調査期間	令和5年(2023年)12月9日
調査面積	約100㎡

美利河2砂金採掘跡は美利河ダム堤体の南西脇、後志利別川右岸に立地し、低位段丘の平坦面の約15万㎡にわたり広がっています。昭和期のダム建設工事により遺跡の半分近くが失われましたが、遺跡中央部は工事区域外で、現在も良好に遺跡が残っています。

町はその良好に残る33,000㎡を令和4年に町史跡に指定し、将来的な遺跡の保全を図るとともに見学利用に供するための整備を予定しています。

今回の調査は、最も良好に石垣や水路跡が残る約100㎡を対象に、遺構の精密な形状や構造を記録するため、LiDARを用いた三次元計測を実施しました。

来年度は町史跡指定範囲の全体を対象に測量調査を行い、過去の調査成果と総合して美利河2砂金採掘跡全体としての実態解明につなげ、その成果を今後の整備に役立てる予定です。



美利河2砂金採掘跡

お問い合わせ先：今金町教育委員会 社会教育グループ

所在地：瀬棚郡今金町字今金48番地1

電話番号：0137-82-3488

メール：imk-syakyo@town.imakane.lg.jp



調査理由	詳細分布
調査地	瀬棚郡今金町字神丘617番地1
調査主体	今金町教育委員会
調査期間	令和5年(2023年)10月17日~10月20日
調査面積	9,300㎡

神丘5遺跡は後志利別川支流のトマンケシナイ川と利別目名川に挟まれた台地上に立地し、標高55m前後を測ります。遺跡は農地整備によって平坦に削平されていますが、かつて土地所有者によって大型石棒や大型磨製石斧が採集されており、大規模な集落遺構の存在が想定されています。

今回は地下遺構の残存状況や遺物の散布状況を把握するため、帯磁率計による地下探査を行いました。帯磁率計は磁性を帯びた被熱石材や変成岩に高い反応を示すもので、9,300㎡の範囲で測定した結果、遺跡の比較的東側に礫が多く存在する可能性が高いことがわかりました。

ただし、旧地形図上では浅い沢に当たる場所で、農地整備による攪乱の可能性も考えられるため、本測定結果をそのまま信用することはできません。今回の調査成果を踏まえ、今後の調査箇所の検討を行う予定です。



神丘5遺跡 地下探査の様子

お問い合わせ先：今金町教育委員会 社会教育グループ

所在地：瀬棚郡今金町字今金48番地1

電話番号：0137-82-3488

メール：imk-syaky@town.imakane.lg.jp

調査理由	学術調査
調査地	枝幸郡枝幸町目梨泊5377番地
調査主体	枝幸町教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）8月4日～8月8日
調査面積	12㎡

目梨泊遺跡は、枝幸町の北部に位置し、浜頓別町との町境になっている「神威岬」を望む海岸段丘上に立地しています。目梨泊遺跡は道北地方を代表するオホーツク文化期の交易拠点として知られており、平成30年には、地元の枝幸高等学校と連携した学術調査によって、外装を「金」と花文、蒔絵で装飾した「金銅装直刀」が発見されました。

今回の調査は、目梨泊遺跡における遺構群の分布を知るため、遺跡のもっとも海側にあたる断崖の直上に調査区を設定しました。調査の結果、周溝の一部や焼土の広がりを確認し、住居跡であることが確認されました。

なお、今回の調査についても地域の歴史とともに学ぶ取り組みの一環として、枝幸高校「総合文化研究部」の生徒たちが活動の中心となっています。調査は来年度以降も継続する予定です。



目梨泊遺跡 調査の様子

お問い合わせ先：オホーツクミュージアムえさし

電話番号：0163-62-1231 メール：museum@esashi.jp

開館時間：9：00～17：00

閉館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月末の火曜日、年末年始

## 礼文町 香深井1遺跡

H-08-9

調査理由	開発事業（道路）
調査地	礼文郡礼文町大字香深村字カフカイ11-9 ほか10筆
調査主体	礼文町教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）5月24日～11月2日
調査面積	130㎡

香深井1遺跡は、礼文島のほぼ中央、香深井湾の海岸砂丘上に立地し、西側に沖積地、東側は海に面しています。この遺跡は、昭和28年にオホーツク土器を伴う遺跡であることが公表され、その後の北海道大学による調査の成果によって、道北を代表するオホーツク文化の遺跡として知られています。

今回の調査は、道路工事に先立つものとして令和2年から継続して行っており、調査区が極めて海に近いので、海での生活に特化したオホーツク文化の生活を復元する上で示唆に富むものです。今年度は、20基もの集石炉に代表される遺構、紀元6～8世紀ごろにあたると考えられる土器や大陸との文化的なつながりを示す骨製品、食料となった動物の骨や貝殻が出土しました。

なお、来年度以降も調査を継続する予定で、開発予定地の調査完了後に報告書を刊行する計画です。



調査区 位置図



骨製バックル出土状況

お問い合わせ先：礼文町教育委員会

電話番号：0163-86-2119

礼文町郷土資料館 ホームページ：<http://rebun-museum.org>

所在地：礼文郡礼文町大字香深村字ワウシ958-4 開館時間：8：30～17：00

閉館日：月曜日・祝日の翌日。ただし6月～9月は無休、11月～翌年4月までは冬季休館

## 利尻富士町 利尻神社下遺跡

H-10-19

調査理由	詳細分布
調査地	利尻郡利尻富士町鴛泊字栄町227番地11
調査主体	利尻富士町教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）5月19日～5月22日
調査面積	8㎡

利尻神社下遺跡は、ノボリオマナイ川を挟んだ両岸に位置しています。昨年に引き続いての継続調査で、東京大学の福田正宏准教授と夏木大吾特任助教にもご協力いただきました。

テストピットの古い層（3層）から旧石器～縄文草創期とみられる両面調整石器（頁岩）が1点出土し、表土層からは、縄文土器や磨製石斧、敲き石などが出土しています。期間中、住民向けの説明会と体験会を実施しました。来年度も継続して調査を行ない、東京大学と連携した調査を計画しています。



両面調整石器 出土状況



説明会の様子

お問い合わせ先：利尻富士町教育委員会

電話番号：0163-82-1370

メールアドレス：kyoui-shakyo@town.rishirifuji.hokkaido.jp

遺跡出土資料の展示は、りっぶ館へ

（電話番号：0163-82-1721。5月1日～10月15日開館）

## 湧別町 シブノツナイ竪穴住居群

I-21-35

調査理由	詳細分布
調査地	紋別郡湧別町川西714、717、718、722-3
調査主体	湧別町教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）7月13日～8月19日
調査面積	22㎡

シブノツナイ竪穴住居群は、湧別川の河口から西に約3km、オホーツク海から内陸に約100mの標高約5mの台地上に立地しています。竪穴住居跡と考えられる窪みが530基も密集して地表で確認できることが特徴です。昭和42年に北海道の史跡に指定されました。

昭和40年前後には発掘調査が行われ、調査した5基の竪穴は全て擦文文化期のものだと確認されました。平成30年からの調査では、7基の竪穴はいずれも擦文文化の後期（11世紀～12世紀中頃）のものだと確認できました。今年度は擦文文化期以外の可能性があった3基の竪穴で発掘を行いました。どれも擦文文化期のものであることが確認できました。この遺跡が擦文文化期に集中して形成されたものであることが、徐々に明らかになってきています。

調査概要報告書は令和6年3月に刊行予定です。



発掘調査区遠景



発掘調査作業風景

お問い合わせ先：湧別町教育委員会ふるさと館JRY・郷土館

電話番号：01586-2-3000

開館時間：9：00～16：30（入館は16時まで）

休館日：月曜日（祝日は開館）、年末年始（12/30～1/4）

調査理由	学術調査
調査地	厚岸郡厚岸町筑紫恋35、36
調査主体	厚岸町教育委員会
調査期間	令和5年（2023年）6月15日～6月17日 令和5年（2023年）10月21日～10月25日
調査面積	18㎡

筑紫恋第一チャシ跡は、市街地から5キロほど南に離れた標高約50mの独立丘陵上に位置する丘頂式のチャシです。チャシの南側には厚岸湾が広がり、大変眺望のよい立地となっています。

この遺跡は昭和36年に東京大学文化人類学教室の岡田宏明先生らによって学術調査が実施されており、チャシ付近の貝塚からはキテなどの骨角器などが出土しています。

本遺跡の第2次調査は令和4年度から開始し、頂部の台地上にある竪穴様のくぼみの発掘と、チャシの構築における構造および構築年代の解明を目的に実施しており、今年度で2ヶ年目となります。

令和5年度の調査では、台地上の竪穴住居様のくぼみを横断するトレンチを2m×4m、台地下の壕のトレンチを2m×5mの範囲に広げ、発掘調査を行いました。いずれも日数の制約から完掘することができなかつたため、次年度に持ち越して調査を継続する予定です。



壕の調査状況



壕内部の状況

お問い合わせ先：厚岸町教育委員会 生涯学習課 海事記念館文化財係

電話番号：0153-52-4040

メールアドレス：k-kaiji@akkeshi-town.jp

## 中標津町 標津川9遺跡

N-03-56

調査理由	詳細分布
調査地	標津郡中標津町西8条北5丁目2番1
調査主体	中標津町教育委員会
調査期間	令和5年(2023年)6月9日、6月11日
調査面積	2㎡

標津川9遺跡は中標津市街地北西部に所在し、標津川によって形成された標高35mの河岸段丘の右岸に立地しています。本遺跡は、旧所有者から当町が埋蔵文化財の保存と活用を考慮して平成28年12月22日に購入したところであり、将来の土地利用に資するため平成29年度から複数年かけて遺跡の範囲及び性格の確認を目的として調査を行っております。

本年度の調査は、昨年度遺構が検出された地点について、調査区を拡張して調査を実施した。その結果、後北C2・D式等の土器片29点、搔器や削器等の石器類4点が出土した。

遺跡の時期は、昭和40年代に町民が縄文土器、後北C2・D式土器、擦文土器を表採しており、これまでの調査においても、続縄文土器の前半期(興津式、下田ノ沢式)、後半期(後北式)の土器を発見していることから、縄文時代中期後葉から続縄文時代を経て、擦文時代後半期にかけて利用されていたと考えられます。



町立丸山小学校の遺跡見学の様子



遺跡近景

お問い合わせ先：中標津町郷土館

所在地：標津郡中標津町丸山2丁目15番地 電話番号：0153-73-3111

開館時間は時期により異なります。ホームページでご確認ください。

ホームページ：[https://www.nakashibetsu.jp/kyoudokan\\_web/](https://www.nakashibetsu.jp/kyoudokan_web/)

休館日：土日、祝日、年末年始

調査理由	詳細分布
調査地	標津郡標津町字伊茶仁1番地21
調査主体	標津町教育委員会
調査期間	令和5年(2023年)8月7日~11月30日
調査面積	2㎡

ポー川河岸2遺跡は標津市街地から北に4kmほど離れた、ポー川左岸の自然堤防上に位置し、地表面から窪みで観察できる竪穴5か所が確認されています。ポー川、伊茶仁川流域に窪みで残る大規模竪穴住居跡群、標津遺跡群の構成遺跡の1つです。

標津町教育委員会では、標津遺跡群の内容解明と、将来の保存に向けた基礎情報を得るため、地域の教育機関等との連携による詳細分布調査を平成29年度から継続的に行っており、今回の調査もその一環で行ったものです。

令和5年の調査では、新たにくぼみで残る竪穴の1か所を対象に、トレンチを設定し、発掘調査を行いました。調査の結果、調査範囲において明確な炉跡は検出できませんでしたが、床面から炭化材を回収しています。遺物は出土しませんでした。

この遺跡では令和4年度から継続して調査を行っていますが、これまでのところ土器の出土はなく、くぼみで残る竪穴のほとんどはアイヌ文化期のものである可能性が高いです。

今後も調査を継続し、遺跡の詳細把握に努めていきます。



作業状況



令和5年度に設定したトレンチ

お問い合わせ先：標津町ポー川史跡自然公園

電話番号：0153-82-3674

メール：po-gawa@shibetsutown.jp



調査理由	詳細分布
調査地	目梨郡羅臼町麻布町108-1
調査主体	羅臼町教育委員会
調査期間	令和5年(2023年)10月2日~12月20日
調査面積	9㎡

タツカリウス南岸遺跡は知床半島東岸のほぼ中央にあたる羅臼市街地より5kmほど南西に位置し、タツカリウス川右岸の砂丘上に立地しています。町では麻布遺跡公園として遺跡の保存を図ってきていますが、遺跡の年代など詳細な情報がなく十分な活用を果たせておりませんでした。このことから、今後の活用方法を検討するために詳細分布調査を令和2年度より開始しました。しかし、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、令和3年度~令和4年度は発掘調査を中止しており、今年度より再開しました。今年度の調査では、羅臼高校と連携し授業の中で発掘調査を実施しています。

現在の地表面からは9軒の竪穴住居跡の窪みが確認でき、この内の2か所の窪みにトレンチを設定し調査を行っています。遺物は縄文時代の宇津内Ⅱ式土器、下田ノ沢Ⅱ式土器が主体であり、その他に石器が出土しています。

今後も調査を継続する予定であり、内容が明らかになった時点で発掘調査報告書を刊行予定です。



タツカリウス南岸遺跡 調査状況

お問い合わせ先：羅臼町郷土資料館

所在地：目梨郡羅臼町峯浜町307-1 電話番号：0153-88-3850

開館時間：9:00~17:00

休館日：土・日・祝祭日・年末年始（ただし、7月1日~9月中旬は毎日開館）

## 羅臼町 モイレウシ川南岸遺跡

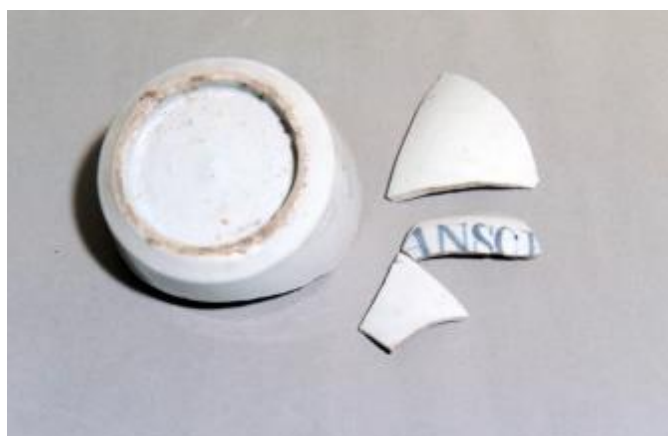
N-05-71

調査理由	詳細分布
調査地	目梨郡羅臼町船泊269林班は小班
調査主体	羅臼町教育委員会
調査期間	令和5年(2023年)7月25日～8月31日
調査面積	5㎡

モイレウシ川南岸遺跡は相泊にある道道87号知床公園羅臼線の道路終点から、海岸線沿いに知床半島の先端側へ8kmほど離れた、モイレウシ川右岸の河岸段丘上に位置しています。当遺跡はモイレウシ川の浸食による遺跡への影響を確認するために令和元年度に調査を開始し、継続して調査を進める予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、令和2年度～令和4年度は発掘調査を中止しており、今年度より再開しました。調査は、羅臼町子ども会育成協議会・羅臼町教育委員会による「ふるさと少年探険隊」事業のプログラムの一つとして参加者の協力を得て実施しています。

調査は、令和元年度に調査を行った竪穴住居跡の中央を通る1m×5mのトレンチ調査を継続しています。トレンチからはオホーツク式土器や石器が出土しています。周辺の踏査では現地表面で配石を確認しており、土壌墓の可能性がります。また、醤油等の容器として利用された白色の磁器であるコンプラ瓶の破片を採集しており、近世における遺跡の利用を確認できました。

今後も調査を継続する予定であり、内容が明らかになった時点で発掘調査報告書を刊行予定です。



モイレウシ川南岸遺跡 表面採集陶磁器

お問い合わせ先：羅臼町郷土資料館

所在地：目梨郡羅臼町峯浜町307-1 電話番号：0153-88-3850

開館時間：9:00～17:00

休館日：土・日・祝祭日・年末年始（ただし、7月1日～9月中旬は毎日開館）



HOKKAIDO  
BOARD OF  
EDUCATION

令和6年3月 発行

市町村における発掘調査の概要 令和5年度(2023年度)

編集・発行

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課

〒060-8544 北海道札幌市中央区北3条西7丁目

TEL 011-231-4111 内線35-606